

登録番号	プロトコール名			
C85-132	濾胞性リンパ腫 G-Benda療法(C1)			
診療科	血液内科	1クールの日数	28日	
審査日	2018年12月25日	所要時間	360分	適応外使用 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
適応病名	濾胞性リンパ腫	放射線療法	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
実施部署	<input checked="" type="checkbox"/> 外来、 <input checked="" type="checkbox"/> 病棟、 <input type="checkbox"/> その他( )			
適応分類	<input checked="" type="checkbox"/> 初発、 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発、 <input type="checkbox"/> 術後補助、 <input type="checkbox"/> 術前補助、 <input type="checkbox"/> その他( )			
番号	抗がん薬名	1日投与量	投与方法	投与日(d1, d8等)
1	Obinutuzumab(カサ'イバ®)・GA101	1000 mg/body	div.	d1,8,15
2	Bendamustine(トリアキシン®)・Benda	90 mg/m <sup>2</sup>	div.	d1,2
3				
4				
5				
6				
7				
8				
エビデンスレベル	<input checked="" type="checkbox"/> 治療 (エビデンスレベル <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 )			
ガイドライン文献名	Marcus R, et al.: N Engl J Med: 377, 1331 (2017)			
その他(減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)	減量は添付文書に従う			

プロトコールに関する解説	
<p>プロトコールに関する解説はありません。</p>	

# がん化学療法処方

プロトコール名		1クールの日数	
濾胞性リンパ腫 G-Benda療法(C1)		28日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
day1	1) デキサート 6.6 mg + 生食 50 mL 2) 生食 50 mL(フラッシュ用) 3) <b>ガザイバ</b> 1000 mg + 生食 210 mL (計 250 mL) <初回投与時> 投与速度12.5mL/hで開始, 毒性が認められなければ30分毎に12.5mL/hずつ増量(最大100mL/h) 0.2又は0.22μmのインラインフィルターを使用 点滴開始30分前までにカロナール錠500mg2錠とレスタミン錠10mg5錠内服 4) 生食 50 mL(フラッシュ用) イメンドカプセル125mg トレアキシン投与開始1時間~1時間半前に内服 5) アロキシ0.75mg + 生食 50 mL 6) <b>トレアキシン</b> 90 mg/m <sup>2</sup> + 生食 / 計 500 mL 生食で500mLとなるように調整する。 調製後6時間以内に投与を終了する。 7) 生食 50 mL(フラッシュ用)	div. div. div.	15分 5分 255分
day2	1) デキサート 6.6 mg + 生食 50 mL 2) <b>トレアキシン</b> 90 mg/m <sup>2</sup> + 生食 / 計 500 mL 生食で500mLとなるように調整する。 調製後6時間以内に投与を終了する。 3) 生食 50 mL(フラッシュ用)	div. div.	15分 60分
day8,15	1) デキサート 6.6 mg + 生食 50 mL 2) 生食 50 mL(フラッシュ用) 3) <b>ガザイバ</b> 1000 mg + 生食 210 mL (計 250 mL) <前回投与でgrade2以上のinfusion reactionが出現しなかった時> 投与速度25mL/hで開始, 毒性が認められなければ30分毎に25mL/hずつ増量(最大100mL/h) ※前回投与時にgrade2以上のinfusion reaction出現時には初回投与に準ずる 0.2又は0.22μmのインラインフィルターを使用 点滴開始30分前までにカロナール錠500mg2錠とレスタミン錠10mg5錠内服 4) 生食 50 mL(フラッシュ用)	div. div. div.	15分 5分 195分
プロトコール 適応時 表示コメント	day2,3にイメンド80mg内服。ガザイバ点滴開始30分前までにカロナール錠1000mgとレスタミン錠50mg内服。6コースまで。		
照射併用時 照射線量	グレイ (備考欄: )		